

スカパーJSATグループ 2023年度上半期番組審議会（議事要旨）

（スカパーJSAT 第40回、スカパー・エンターテイメント第33回）

開催年月日：2023年9月28日（木）

開催場所：スカパーJSAT株式会社 役員会議室

出席者

（審議委員）

委員数：7名 /出席委員数：6名

審議委員長：高畑 文雄

委員：二宮 清純

委員：山本 浩二

委員：田中 里沙

委員：安田 洋祐

委員：マッコイ 斉藤

（スカパーJSATグループ）

米倉 英一：スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員社長

小川 正人：スカパーJSAT(株) 取締役 執行役員専務 メディア事業部門長

奥永 孝仁：(株)スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長

明石 静：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部長

加藤 大：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ事業部長

広瀬 義武：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ事業部部長代行

（報告者）

川原崎 紘史：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ事業部 エンタメチーム

浅野 宏哉：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ事業部 スポーツ第2チーム

奥永 孝仁：(株)スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長

（陪席）

萩原 健太郎：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ事業部 スポーツ第2チーム長

相良 美恵：(株)スカパー・エンターテイメント 放送推進部長

（事務局）

山田 巴奈：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ事業部 編成管理チーム長

西田 美紅 / 齋藤 収：同 コンテンツ事業部

<番組審議>

審議番組 (1) 『行かせ! つばきファクトリー』

報告者: 川原崎 紘史

◆放送概要

放送日: 毎月第2・4月曜日 23時30分～

放送チャンネル: スペースシャワーTV

◆番組概要

2021年7月からBSスカパー!でレギュラー放送開始されたハロー!プロジェクトに所属する11人組アイドルグループ・つばきファクトリーのレギュラー冠番組。2022年11月より、スペースシャワーTVとスカパー!番組配信(スカパー! ALL契約者向け)で放送配信。【行くつば】の愛称でファンから熱い支持を受ける人気の番組となっている。

【出演者】

MC: つばきファクトリー ゲスト: 児玉 雨子・西野 蒟蒻(作詞家)

※審議番組の回は、つばきファクトリーの楽曲を作詞しているゲストが登場。

◆番組企画意図

スカパー!プラットフォームでキラーコンテンツとなっているハロー!プロジェクトのアイドルを起用したレギュラー番組を放送することで、ハロプロファンのスカパー!に対する信頼を確たるものにする事やコンサート生中継で獲得した顧客の契約継続に寄与すること。

◆審議委員からのご意見

- 地上波テレビの感覚だと、多くの人から注目が集まる、少し気になるコンテンツを制作することが多い。スカパー!で放送の番組の場合、一部の人の関心を得て有料でも観てみたいなど違った形の路線を求めていくことが必要。
- 出演メンバーだけで番組進行することはある種の賭けになる部分もあるが、この回は作詞家の出演もあり、年代が違ふことからの学びがある結果となった。様々な見せ方があり多様性のある良い番組になっている。
- この番組は、決して幕内弁当ではなく、テーマをはっきり絞り込んだ一行で分かる企画をやらないと面白くない。テーマを作詞に絞って制作したのは良かった。
- テロップの使い方を工夫すると良いかと思う。例えばアイドル其々に肩書(キャッチコピー?)をつけ、それを大きくテロップで入れことで、ファンから「自分たちが言いたいことを分かってくれている」と共感を得られ其々のキャラクターを活かせることもある。
- ゲストが評価を行う際、感性やこつという点に注目するのだなという気づきがあり、面白い番組になっている。
- 一般的なアイドルグループを分けるとするならば、ミックスジューズ型とフルーツポンチ型になると思う。ミックスジューズ型は統一性があり、フルーツポンチ型は其々のふぞろい感を大切にしているもの。このつばきファクトリーは、ふぞろい感、意外性、非統一性などを極大化していくことで、番組の面白さを際立てると思う。

➡ 頂戴したご意見を参考にし、今後もファンの方により喜ばれる番組作りに邁進させていただきます。

審議番組（2）『Jリーグラボ』

報告者：浅野 宏哉

◆放送概要

放送日時：毎月第4金曜日 19時00分～

放送チャンネル：スポーツライブ+

配信：スカパー！番組配信

◆番組概要

Jリーグチェアマン・野々村芳和氏がMCを務め、毎回ゲストを招き様々な角度から日本サッカーを分析する番組。2013年に番組を開始し、2023年8月で124回目の放送を迎えたスカパー！サッカーオリジナル番組。今年の放送は、2023年に30周年を迎えたJリーグにフォーカスし、これまでの歩みや今後のJリーグについて深掘り。Jリーグチェアマンが番組を進行することで、Jリーグのコアファンに刺さる内容を意識して制作している。

【出演者】

MC：野々村芳和（Jリーグチェアマン）

※審議の回は、Jリーグ開幕戦に出場した方々がゲストとして登場。

ゲスト：水沼貴史（元日本代表）、福田正博（元日本代表）、本並健治（元日本代表）

◆番組企画意図

長期間放送を続けJリーグの話題を提供してきたこと、今もルヴァンカップやクラブ応援番組などを放送していることからJリーグチェアマンとなっても野々村さんの出演が継続できた。チェアマン出演番組をレギュラー放送することでJリーグとの関係性を構築し、これからもJリーグの発展に寄与していくこと、それによりJリーグファンからの信頼を得て、さらにシーズンオフ期間での契約継続に寄与することを目的としている。

◆審議委員会からのご意見

- Jリーグ創設前夜というテーマでの話は面白いが、Youtube番組のような居酒屋的トークで終わらせず、番組としてももう少しプロのメスを入れた切り口があって良かったのではないかと感じた。権利許諾で難しい場合もあるが、トーク中、過去の映像が入ると効果的であると感じた。
- トークショーとしてクオリティーが高く、面白かった。Jリーグ30周年を振り返るということで、ゲストが選ぶベストイレブン企画、視聴者が興味をもつJリーガー推定年俸の推移、これまでの助っ人選手など、テロップでトークテーマを紹介するとより良かったかもしれない。
- スタジオセットの背景が白色で、かつ出演者4人のうち3人が白いシャツだったため、目がチカチカする映像になっていた。制作サイドで衣装についての調整を取り、視聴者への見やすさの配慮があると良かった。
- この番組は、余計なテロップもなく、ラジオのような構成になっており、耳から入ってくるような演出を敢えてしていると感じた。トークはとても面白い。アシスタントが余計な登場にならず、使い方が上手だった。
- スタジオセットの背景の中に黒板が置いてあり、良い感じでバーチャルとアナログの魅力を組み合わせていると思った。番組中の会話は、ゆるいながらも芯があり、番組の軸がぶれていないため、安心して見ることができた。

➡ 、頂戴したご意見をもとに、さらに良い番組にしていこう努力してまいります。

<報告事項>

スカパー・エンターテインメントの番組審議について

報告者：奥永 孝仁

<報告内容>

(株)スカパー・エンターテインメントでは、衛星基幹放送事業者として、2Kの6チャンネル、4Kの8チャンネル、合計14チャンネルを110度上で、また衛星一般放送事業者としてスカパー！プレミアムサービス計137チャンネルを運営している。

2019年上期より内規・判断基準を明確化。LEVEL1「様子見」、LEVEL2「要注意」は対応不要、LEVEL3「要対応」は放送を見合わせる等の対応をとるべきとの基準を策定し、番組供給事業者へも説明をしている。

前回番組審議会後に対応した考査事例について報告。(2022年12月以降3案件)

グループ内でのコンプライアンス対応については、コンテンツ事業部内で番組とCMの考査を実施。案件発生の場合、対応案を作成、考査担当と確認の後、総責任者が最終決定をし、放送事業者や権利元等への対応を図る運営を行っている。

また、自主放送番組や自社制作の配信番組についても考査を行っている。

以上